

センター活用事例 [case1]

地酒屋 & カフェ TAKAIWA

<http://takaiwa.moo.jp/>

秋田県湯沢市桑崎字中泊15 Tel. 0183-52-2246
 [営業時間] 地酒屋 10:00-18:00 カフェ 11:00-17:00
 夜の酒カフェ(日本酒とお料理) 18:00-20:30 (5名以上要予約)
 [定休日] 月曜日(祭日の場合は営業)

「私なりにできること、私ならではのフィールドから日本酒を盛り上げていきたい」と話す高橋さん。



センター活用事例 [case2]

有限会社ビュー

<http://dream-s.info>
<http://www.viewcoat.com>

秋田県大仙市戸地谷字川前253-3
 Tel. 0187-63-8775 Fax. 0187-88-8115
 [営業時間] 8:30~17:00 [定休日] 日曜日
 ※その他の休業日は、HPの「営業日カレンダー」参照

今後は海外進出に向けて「各国の法律や仕様に合わせて様々な認証をクリアしていきたい」と話す茂木社長。



コンテストを機に活動の場を広げる



地酒屋 & カフェ TAKAIWA

「ビジネスプランコンテスト2014」で最優秀賞を受賞した高橋まゆみさん。その後の様子を聞きに、湯沢市を訪ねた。

念願だったカフェをオープン

2年前のコンテストでは「日本酒好きが集う和カフェの展開」と題して、日本酒カフェのオープン、日本酒の仕込み水を使ったコーヒーの提供、精米の工程で出る酒米の粉を使った洋菓子の提供などのプランを発表。コンテストから4ヵ月後の昨年4月、高橋さんは念願だった「地酒屋 & カフェ TAKAIWA」をオープンした。おすすめは「自家焙煎 仕込み水コーヒー」と酒米の粉を使った「酒米粉入りチーズケーキ」。どちらも珍しさとおいしさで好評を得ている。

「オープン後、疲労で体調を崩したこともあったが今は完全復活。スタッフの育成も順調に進み、お客様も増えてきた」と開店からの1年余りを振り返る。今は各種の日本酒イベントを開催するなど、

TAKAIWAは日本酒の情報発信基地としても耳目を集めている。

きっかけは何気ない一言から

曾祖父から続く高岩商店の4代目。「跡取りという意識はあったものの、日本酒に関心はなかった」と話す。高橋さんが日本酒に携わるきっかけは、東京に住む友人の何気ない一言から。「私が秋田出身と知って『秋田の美味しいお酒送ってよ』と。そこで、地酒に力を入れる酒販店に行き、浅舞酒造(横手市)の杜氏の話が出た。なぜか『その蔵で自分のお酒を造りたい!』と思いついてしまった」。その帰り道、さっそく浅舞酒造の門を叩いた。平成5年、田植え、稲刈りなどの農作業を含めて、酒造りの全工程を体験した。個人が日本酒のプライベートブランドを造るのは珍しく、テレビのドキュメンタリー番組が制作されて話題になった。以来23年間、蔵の手伝いや家業を通して日本酒に携わってきた。

日本酒の魅力を女性に発信

平成24年、若い女性に日本酒の魅力を発信しようと「さけがある」を仲間と結成。日本酒業界を盛り上げたいと、日本酒の商品企画やパーティーを開催。今やメンバーは全国にいる。そして、日本酒をもっと身近に感じてほしいと、仕込み水や酒米の粉に着目して開いたのが当カフェ。コンテストを機にプランを実現し、日本酒のPRに一層力が入る。「カフェと酒屋を持続しながら、今後は酒米粉を使ったお菓子の開発・販売や日本酒のセミナーの開催に挑戦したい。酒屋だからこそ、このカフェを続けられるし、酒屋ならではの、女性ならではの目線で面白いセミナーを開催できると思う」と、新たなプランも描いている。

日本、そして世界中のストレスを癒したい



有限会社ビュー

企業応援ファンドの採択を受けて開発したのは、リアルな肉球付きパソコン用マウス。

全国から注文殺到

大仙市のカー用品会社「有限会社ビュー」が開発したのは、猫の肉球付きパソコン用マウス「プニティマウス」。今年1月からクラウドファンディングで出資者を集めたところ、テレビやウェブニュースなどで取り上げられ、発売前から予約が入るほど。3月31日の発売以降、全国の猫好きから注文が殺到している。「生後6ヵ月くらいの子猫の“ぶに感”を再現した」と茂木晃正社長。ぶにぶにの弾力と、しっとりとしたその感触は、本物そっくりだ。「仕事でストレスを感じたら、肉球をぶにぶにして心を和ませてほしい」と話す。

形状と感触をとことん追求

開発のきっかけは、猫に行なった何気ない動作から。2匹の猫と暮らす茂木社長。平成23年、飼い猫の

手を持ってテーブルを拭く仕草をしたとき「マウスだけれども猫の手って面白いんじゃない?きっとストレス社会の癒しになる」と「ピンときた」という。同様の商品がないかウェブで調べると「リアルさを追求した肉球付きマウスはありそうで無かった。一方、肉球ファンは世界中にたくさんいることが分かった」。それから3年近くアイデアを温め、当センターに商品化を相談。「センターを訪ねるたび、思いを聞いてもらっていろいろアドバイスももらった。おかげでイメージが固まり、これはいけると確信した」。26年に企業応援ファンドに採択されてからは、県産業技術センターの協力を得、3Dプリンターで形状を試作すること11回。苦労したのは、愛らしい丸みのある猫の手に形作ることと肉球の感触。昨年秋のプロタイプ完成ぎりぎりまで試行錯誤を続け、納得の仕上がりを追求した。

国や言語、肌の色を越える商品に

同社の本業は、自動車用コーティング剤の開発、製造、販売、施工。コーティング剤の開発は、調合作業の繰り返しで、この経験が肉球の素材開発・製造に役に立った。中にジェルを入れ、外側を不粘着性シリコンカバーで覆うことで、ぶにぶに感と汚れや破れに強い耐久性を実現した。

発売直後にも関わらず、東京銀座や大阪梅田の百貨店から声がかかって出店。こうした反響の大きさに「自分が一番驚いている」と目を丸くする。

今後は、海外進出も視野に「猫好き、肉球好きは、国や言語、肌の色を越えて繋がることのできる。世界にはまだまだ、ぶにぶにの癒しを必要とする人がたくさんいるはず」と、柔らかな肉球に堅い決意を込める。



A 水のおいしさを味わって欲しいと苦味、酸味を抑えた「仕込み水コーヒー」と、濃厚でしっとり食感の酒米粉入りチーズケーキ。
 B プライベートブランドとして造り続ける日本酒「結実(みのり)」。純米酒と純米吟醸がある。

事業概要 あきたビジネスプランコンテスト

県内での創業・起業意識の醸成と、独創性のある経営計画を持つ起業家を発掘するため、年に1回開催するコンテストです。

お問い合わせ あきた企業活性化センター 総合相談担当
 TEL 018-860-5610



A 多くのリクエストに応じて、追加した黒タイプ。
 B 産経新聞に取材され、紙面に大きく掲載された。
 C 平成15年の発売以来、バージョンアップを繰り返し、ロングセラーとなっているガラスコート剤「ニュービーム」。

事業概要 あきた企業応援ファンド事業

地域資源を活用した県内企業や経営革新の承認を受けた県内企業の新品開発等の取組を支援します。

お問い合わせ あきた企業活性化センター
 設備貸与・研究開発資金担当
 TEL 018-860-5702